



資料館だより

No.23
2009年
3月号

過去と未来がひびきあう

ようこそ、エコミューズへ

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

中学生が見た「西淀川公害」 展示パネルを見て感想文

大阪市立西淀中学校の2年生、
男子4人が2月18日～20日にか
けて、あおぞら財団に「職場体験」
に来ました。資料整理や郵便物



中学生たちの感想文

の発送作業、ポスター制作など、あれこれ忙しくお仕事を体験。
そして、3日目。エコミューズにあるビデオや西淀川公害の展
示パネルを見て、感想文を書いてもらうことにしました(これも

西淀川公害のパネル



立派なお仕事です)。2枚に
わたる原稿用紙からは、中
学生が受け止めた「西淀川
公害」が見えるのでは？ここ
に一部紹介します。

1930年ごろから、高度経済成長期にはいい、いろんなことが便利に
なったが、その反面人々が苦しまなければならないということが起きた。
21世紀に生きる僕たちが今しなければいけないことは、昔のこ
とを知り、未来に生きる子どもたちがいい環境で暮らすためにもCO2な
どを減らすことだと思います。(池川 悠)

最終的に、公害患者の人たちの要望が通り、裁判に勝ったところが、
自分が一番印象に残りました。もしも、自分が公害患者としたら、
自分もその運動に参加したと思うからです。
自分は今、知れてよかったと思い、今からだったら、間に合うと思い、
自分はこのことを広めて、皆に知ってほしいと思い、大人になっても
そのことを忘れずに、自分で、できることを少しずついいから、今か
らやっていこうと思った。(池野 裕悟)

昔の、西淀川区の、立ち上がった人たちのプレートが僕は一番印象
に残っている。裁判で二十年もかかったと聞いて政府の人たちは何
をしているんだと思いました。工場のけむりでたくさんの人たちがい
のちを失ったんだと言うことも今日初めて学んだ。
今日、学んだ公害、公害をなくそうとした地域の人たち、あおぞら財
団などのこと、公害の起こす病気のことなどを忘れないようにしたい。
(福原 旺達)

一番印象に残ったのは、病気や苦しみの連鎖です。病気のせいで、
仕事ができない、学校に行けない、食事や入浴が困難、のけ者と呼
ばれるなどいろいろなことに、苦しむ人々がいる。と言う事が一番印
象に残りました。
今後も環境のことについて、どんどん考えていったり、行動をおこし
ていきたいな。と思いました。(森山 直人)

祝！ 来館者1,000人突破 おかげさまで、この冬なんだか盛況です

2006年3月の開館から数えて、この冬、来館者が1,000人を
越えました。足をお運びいただいたみなさま、また、遠くより見
守ってくださっているみなさま、ありがとうございます。

2月は団体の受入が続き
ました。海外からは、JICA (国
際協力事業団)のヤングリ
ーダー研修で、それぞれ国
は違うものの、みな使用言
語はスペイン語、という受入
がありました。質問やコメン
トを発言しようと、次から次
へと挙がる手。グアテマラの人からは、国が内戦にある中、
NGOの代表者が命を狙われるなど、運動がまさに命がけであ
る状況が語られました。



アルゼンチンやチリ、コロン
ビア、コスタリカなど様々な
国のNGOや行政職員の人たち

そして韓国からは小学生
から高校生までの若さあふ
れる「ブルー・スカイ 日本探
検隊」が訪れました。日本で
はおなじみ(?)の二酸化窒
素の簡易測定は韓国でも環
境NGO グリーンコリアで実施



韓国のメンバーたちと記念撮
影。はい、キムチー。

されており、その測定に参加した人たちの中から選抜されたメン
バーだそうです。西淀川高校で生徒との交流もあり、大人も
含め、お互いの刺激になりました。

<おもな受入>

- 2月1日 (日) 韓国 ブルー・スカイ日本探検隊 (14人)
- 2月10日 (火) 環境省職員環境問題史現地研修 (15人)
- 2月20日 (金) JICAヤングリーダー研修 (14人)/GEC主催
- 2月24日 (火) 日本福祉大学 牧洋子ゼミナール (10人)
- 3月1日 (日) 大阪経済大学、水俣市 飯田市職員視察 (6人)

エコミューズ開館3周年記念

みんなで歩こう! 西淀川の歴史めぐり

日時 = 2009年4月4日 (土) 午後1時半～4時半 (受付は午後1時～)

場所 = 集合 阪神西大阪線 福 駅、解散: 出来島 駅

参加料 = 300円 持ち物 = 飲み物、筆記用具

申込み = 事前に裏面の連絡先まで 定員 = 30人

案内人 = 小田康徳館長 (大阪電気通信大学教授 / 近現代史)

後援 = 大阪市教育委員会 (依頼中)

お知らせ
路地の街と工場地帯
を歩きます!

もりもとまきの アーキビストの目 所蔵資料紹介

おとなりのまちを知る -「アマ」のあの顔・こんな顔-

西淀川区の西側に隣接するのは、兵庫県尼崎市です。今回は、そんなおとなりのまち・尼崎の情報誌『南部再生』(A5冊子カラー22頁、隔月発行)をご紹介します。発行元は『尼崎南部再生研究室』、通称『あまけん』です。あまけんは2001年3月、尼崎公害訴訟の和解金を活用して設立した団体です。あおぞら財団と同じく、公害地域再生のためのさまざまな活動をしています。

『南部再生』が取り上げる『アマ』の



顔は、驚くほどにバラエティ豊か。毎号組まれる特集テーマのタイトルは、例えば、『メイドインアマガサキ』(13号、2004.2)、『食在尼崎 食は尼崎にあり』(16号、2004.12)、『オール阪神阪急』(23号、2006.10)、『アマのウチナー』(26号、2007.8)、『尼崎の歌 ザ・ベストテン』(30号、2008.9)...こんどのアマは、どんなアマ?と、毎号ワクワクさせられます。また、連載コラム『マチノムサシ』では、

「1年で1センチ沈む地盤(臨海地域の年間地盤沈下量)」(26号)や「バツの生息地10.7%増加」(30号)など、尼崎にまつわる数字から、まちの課題や希望が描かれています。

知っているようで知らない、おとなりのまちのさまざまな顔を、楽しみながら、時に考えさせられながら、知ることができるフリーペーパーです。

ブログ版 <http://aozorabsw.exblog.jp/i11/>

アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。



こんにちは新着図書です

公害 地球環境問題懇談会 地球の温暖化をとめて』2008年 DVD (18分)



地球温暖化をテーマに、その現状・原因・解決への糸口をまとめたDVD『地球の温暖化をとめて』を紹介します。

このDVDの特徴は、温室効果ガス増加につながる二酸化炭素排出の原因の取り上げ方にあります。クルマの排気のような聞き慣れた課題よりも、国の二酸化炭素排出削減への姿勢、軍事兵器の二酸化炭素排出、産業構造上の課題などメディアがあまり取り上げない、「本当に重要な地球温暖化の原因」に深く切り込んでいます。

映像の冒頭には、氷河の消失、異常低気圧の発生など、人間による地球温暖化がもたらした世界の環境破壊の様子が映し出されます。このDVDを通して、地球温暖化の原因の「真実」を知って頂き、皆さんと行動していく事が出来ればいいなと思っています。

池田風弥 (資料整理スタッフ)

お知らせ

エコミューズ活動資金
ハモン基金
寄付協力をお願い
エコミューズを支えてください
あなたの寄付金は青空へつながります。
寄付の方法
郵便局からお振込みいただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。
【口座】十万円 / 一万円 / 千円
【口座番号】
0124893
10960191

加入者名)あおぞら財団
通信欄に「ハモン基金」の
寄付」と記入ください
一口の金額はお選びください

ボランティア隊
あなたも「エコミューズ」に入っちゃおう!
資料整理や展示、イベントの手伝いなど活躍の場がいっぱいです。
交通費 実費支給(上限2000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください



エコミューズの活動は
ハモン基金によって支えられています。



編集後記

表面で紹介した中学生の職場体験。中学生たちは西淀川区に住み、ここで学校に通っていますが、「西淀川公害って知ってる?」の質問には、みな首をかしげます。それではということで、ゆっくり時間をとって、ビデオや展示を見て、感想文を書いてもらいました。感想文を読むと、中学生にもきちんと云わるといふことが確かめられ、うれしい気持ちになりました。(Y)

資料館だより No.23
2009年3月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川 公害と環境資料館
(エコミューズ)
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル 5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>



エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害 環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
開館 月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM ~ 5:00PM [要予約]
利用 図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ